

溶接熱影響部の切欠靱性による鋼種分類
に関する報告 (第1報)

—溶接構造用鋼の溶接継手部における切欠靱性の調査—

1 9 7 3

社団法人 日本溶接協会
鉄鋼部会 G S W 委員会

序

当CSW委員会 (Classification of Structural Steels for Weldability) は溶接性より鋼を分類する目的で1972年に日本溶接協会 鉄鋼部会に設立され溶接部の冷間割れ，割離，脆性破壊等について調査検討を行なってきた。

既に国際溶接学会 第9委員会F分科会 (IIW, Sub Commission IX-F) においては溶接性による鋼種分類案およびその為の試験法が二，三提案され，検討がなされている。

本委員会はこのような国際的な状況も考慮して調査検討を行なった。

本報告は，その一担として溶接継手部の脆性破壊感受性に関する国内研究の現状を一般に公表されている諸文献について調査したものである。

なお，溶接性（溶接熱影響部の切欠靱性）による鋼種分類についてまだ結論を出すに至っていないが，本報告においてはその為の問題点を幾つか抽出した。今後結論を出すまでに更に十分な調査検討が必要である。

本報告書はCSW委員会のつぎに示す委員により起草されている。

主査	稲垣道夫
副主査	田村博
幹事	中島明
"	伊藤慶典
原案起草者	谷口至良
"	岡林久喜

溶接熱影響部の切欠靱性による鋼種分類に関する報告（第1報）

— 溶接構造用鋼の溶接継手部における切欠靱性の調査 —

内 容

1. 緒 言
2. 鋼 材
3. 溶接継手の各部における切欠靱性
4. ホンドおよびボンドに隣接する熱影響部の切欠靱性におよぼす溶接条件の影響
5. ホンドおよびボンドに隣接する熱影響部の切欠靱性と母材原質部の切欠靱性との比較
6. 溶接熱影響部の切欠靱性と化学成分および組織との関係
7. 溶接継手の脆性破壊の臨点より鋼種分類を行なう場合の諸問題

引 用 文 献

委員会構成委員名簿